

# リレー・フォー・ライフ HOPE セミナー

参加無料  
定員60名

「がん患者支援」と「がん征圧」に向けて

6月13日(土) 13:00~15:00

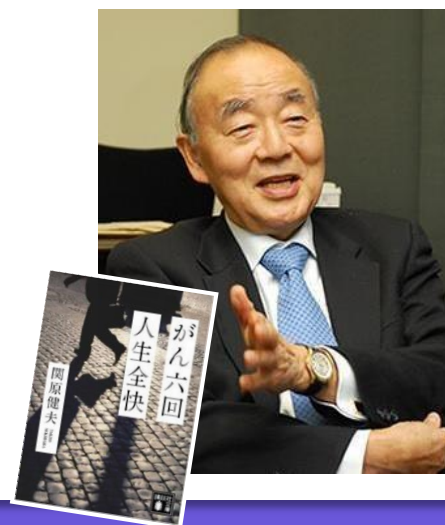
東京医科歯科大学 3号館6階 大学院特別講義室

東京都文京区湯島 1-5-45

【アクセス】 JR御茶ノ水駅下車 徒歩3分  
丸の内線 御茶ノ水駅下車 徒歩1分  
千代田線 新御茶ノ水駅下車 徒歩5分

- 第1部 13:00~14:00  
「6回のがん手術を乗り越えた  
投げ出さない人生とは」

関原健夫 (日本対がん協会 常務理事)



- 第2部 14:00~15:00  
「今私達ができること  
がん患者支援ボランティア活動  
リレー・フォー・ライフ(RFL)とは」

岡本宏之 (日本対がん協会 RFLジャパン統括マネジャー)

藤田雄一 (RFLジャパン上野実行委員長)



申込みとお問い合わせは [rfl@jcancer.jp](mailto:rfl@jcancer.jp) まで

「お名前」と「電話番号」を添えて事前メールでお申し込みください。  
当日予約なしのご参加はお座りになれない場合がありますのでご了承ください。

【主催】

公益財団法人 日本対がん協会  
リレー・フォー・ライフ・ジャパン  
上野実行委員会

## 【セミナー第1部について】

わが国のおよそ2人に1人が、がんになり、また3人に1人が、がんで命を落としています。この割合は世界トップレベルで、日本は世界有数のがん大国とされておりま

す。がんによる死亡を防ぐにはどうすればいいのでしょうか？ がん検診を積極的に受診することにより、がんを早期に発見し、早期に治療できれば完治の可能性も高く、個人の医療費負担も軽くなるとともに、健康で質の高い日常生活を送ることができます。

1部では、働き盛りの39歳で大腸がんを摘出し、その後肝転移など計6回に及ぶ手術を受け克服した関原健夫氏の実体験を聞きながら、がん検診の重要性や、がんと上手に向き合う大切さを考えます。

### 関原健夫（せきはらたけお）公益財団法人日本対がん協会 常務理事

1969年京都大学法学部卒業。(株)日本興業銀行取締役総合企画部長、みずほ信託銀行副社長、J I & T社長を経て、現在、日本対がん協会常務理事のほか、楽天銀行(株)取締役など数社の社外役員に就任。

1984年、興銀ニューヨーク支店営業課長時代に大腸がん発病(39歳)。その後5回のがん手術(肝転移2回、肺転移3回)を受け完治するが、1996年に心臓バイパス手術以降、数回の狭心症・心筋梗塞でカテーテル治療を受ける。

2001年、闘病記『がん六回 人生全快』を刊行(講談社文庫)。

2009年にはこの闘病記が「NHKスペシャル・働き盛りのがん」として、ドキュメンタリドラマ化された。



2009年放映 NHKスペシャルより

## 【セミナー第2部について】

リレー・フォー・ライフは、**がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指すチャリティ活動**です。

1985年、アメリカで一人の医師がトラックを24時間走り続け寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと闘っている」という想いを共有し支援するためです。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、2014年時点で全米約5,500か所、世界25か国で開催され、全米での年間寄付は400億円に上ります。

世界的なムーブメントとして拡大しているこの社会貢献活動。日本では、日本対がん協会がアメリカ対がん協会とのライセンス契約によりその事業を日本で展開中。2006年茨城県つくば市で行われたプレ開催を皮切りに、2015年は47ヶ所、8万人以上の参加者によるウォークイベントが予定されています。

ホームページ <http://relayforlife.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/RelayForLife.Japan>